聖流

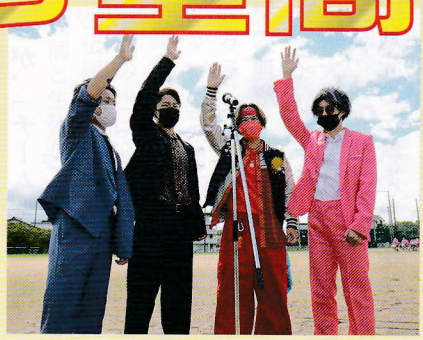
発　行
石川県立大聖寺高校　同窓会
2022.12.16
同窓会会報 81号

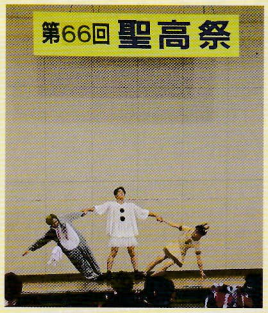
題字…加賀市美術館館長 長谷川 清氏（第9回・昭32年卒）

第66回聖高祭が9月9日（金）に行われました。当初の予定では、8月31日文化祭、9月1日体育祭でしたが、コロナウイルスがこの時期猛威を振るっていた関係で、残念ながら規模を縮小し、一日の開催（午前文化祭、午後体育祭）となりました。今年度のテーマは「覚悟はいいか?!　It's 聖 (Show)Time」。学年1クラスごとの4団編成（ピンク、赤、黒、青）での競技となりました。

文化祭は、放送部・吹奏楽部発表、聖高大舞台の順に行われ、規模縮小のため1年生の壁新聞・仮装発表、2年生の模擬店などは予定通り実施ができませんでした。それでも発表者たちは練習の成果を存分に発揮し熱のこもった発表をしていました。体育祭については、当日の午後アトラクションと応援合戦のみをグラウンドで発表し優勝を競いました。他の競技は実施できませんでしたが、それぞれの団が創意工夫したアトラクション、応援は例年と変わらずすばらしいものでした。次年度以降、また聖高らしい聖高祭の実施を生徒・職員・同窓生一同願ってやみません。

我ら聖高生





住所変更等の手続きや、お問い合わせはホームページからも受け付けておりますので、どうぞご利用ください。

退任ご挨拶

前校長
土山　樹一郎

同窓生の皆様には、母校の揺るぎない進化と在校生への支援のために、平素より多大なるご厚情を賜り、心よりお礼申し上げます。

私は本校教頭職3年間後の、令和2年4月より校長職を任ぜられ、今年3月をもって職を退くこととなりました。本校勤務通算二十年目、「教師の母校」と認識している本校で、校長の職を閉じられることに感慨深いものがあります。二十代後半から四十代前半の十五年間、学習、進路、そして部活動指導、それらすべての基礎から実践を諸先輩の先生方をはじめ、多くの生徒から教わりました。本校で教えられた「教師の使命」は、今でも私の人生の大きな財産です。

校長としてのこの2年間は、コロナ禍という大きな環境の異変による様々な制限と、先の見えない不安が入り交じったものでした。しかし、「『新しい生活様式』を取り入れながらも、学校教育活動は止めてはいけない」、私をはじめ全職員の強い思いが集結された充実した日々ともいえました。創立百十周年記念式典をはじめとする学校行事、近年の教育・入試改革への対応、GIGAスクール構想の推進、探究型学習への移行等、これらすべてが、「チーム聖高」の名を証明するが如く、学校全体として着実な歩みの実現がありました。

最後になりますが、同窓生の皆様のご健勝とともに、大聖寺高校が南加賀の伝統校として近未来に向けてさらなる躍進を遂げられることを祈念申し上げ、お礼のご挨拶といたします。

新任ご挨拶

校長
米口　一彦

同窓生の皆様には、平素より本校の教育活動に、ご理解、ご協力、そして物心両面からのご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

本年度、大聖寺高校の校長として赴任いたしました米口一彦と申します。私、自宅が加賀市動橋町です。今回縁ありまして、地元の伝統ある大聖寺高校に赴任することができました。私は、土山前校長が目指した、"主体性の育成と文武不岐の実現"を引き継ぎ、勢いのある学校に盛り返していきたいと考えています。そのための大きな原動力は"チャンス、チャレンジ、チェンジ"だと思います。4月当初より、生徒の皆さんや先生方には、自分でチャンスを見つけ、チャレンジし、チェンジすることで、勢いが生まれてくる、と言い続けています。

今年度の聖高祭は新型コロナの影響で延期、縮小版での実施となりましたが、生徒達は先輩後輩のつながりや他の団への敬意を忘れない聖高伝統の体育祭を体現してくれました。困難な状況の中でも、最高のパフォーマンスを発揮することにチャレンジする姿が見られました。こうした高校生活でのチャレンジが一人一人の心に刻み込まれ、人生の熱い1コマとして思い出される。高校がその役目も担っていることを忘れず、コロナ禍ではありますが様々な教育活動を展開しチャンスを設けていきたいと存じます。

今後とも変わらぬご理解、ご協力、ご支援をお願い申し上げまして、新任のご挨拶といたします。

同窓会運営協力金から母校への支援

令和２年度に発足した難関大学合格を目指す「難関クラブ」の活動も３年目を迎えました。１年生から３年生まで縦のつながりを持った学習集団づくりもようやく軌道に乗ってきました。一昨年度からの大学入試制度改革により、思考力や読解力がより一層求められる入試へと変貌し、２年目を迎える大学入学共通テストも大きく平均点を下げ、難易度は上がっています。より一層低学年時から質の高い問題に触れ、読解力や思考力を育てていくことが求められます。

本校が採用している「Ｚ会の団体添削」がその役割を担ってくれています。昨年度から継続受講する生徒や、志望を一段階上げ、今年から新規に受講する生徒もいます。いよいよ今年は３年間団体添削を受けた生徒達の受験です。生徒の高い志望実現の一助になることを願っています。

このような本校の活動は、同窓会から難関クラブに対する支援によって支えられています。同窓会の後押しを感じつつ、責任を持って、生徒一人ひとりの進路実現に向けて一層尽力してまいります。

令和3年度 卒業証書授与式

令和4年3月3日（木）午前10時より第74回卒業式が挙行されました。

今年も昨年と同様、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、代表以外の在校生は出席せず、卒業生と保護者、限られた来賓のみの式となり、同窓会からは同窓会長 永山信也氏が出席されました。全参加者が常時マスクを着用し、式次第も一部割愛されましたが、厳かな式となりました。

永山会長からは祝辞として、「今までの感謝の気持ちを恩返しするつもりで、自信を持って歩んでいって下さい」との言葉が卒業生に贈られました。

また答辞では弓道部の大杉暉之さんが、学年でたった二人だった男子部員として伝統の弓道部を支え、その活動を先輩、後輩、女子部員が支えてくれたこと、そして先生方・家族への感謝を述べ、最後に「これからの進む道において苦悩や困難に立ち向かっていくことになると思うが、3年間で得たものを胸に突き進んでいく」と決意を新たにしました。

同窓会から卒業生へ卒業証書ホルダーが記念品として贈られ、143名の卒業生がそれぞれの道に向かって巣立っていきました。

令和3年度 卒業生の大学合格状況

この春、4クラス143名の生徒が大聖寺高校を巣立っていきました。特進クラス（スパークス）の4期生の学年となります。特進クラスを筆頭に果敢に挑戦した大学入試は、以下の表のような結果となりました。

「大学入学共通テスト」に変わり2年目。今年度はニュース等でも取り上げていたように非常に難易度の高い試験となり、平均点を大きく下げたテストとなりました。全国の受験生同様、本校の生徒にとっても思ったように点数がとれず厳しい結果でした。それに加えて、新型コロナウイルス感染症対策にも各大学や受験生たちは対応を迫られ、勉強以外にも気を遣う中での受験でした。難しい状況の中、低学年時から高い志望を持たせる指導や難関大や金沢大学を目指す生徒への個別指導、全教員での補習が実を結び、3年連続45名の国公立大学合格者を輩出することができました。

内容は、昨年度合格者を出すことができなかった難関大と呼ばれる名古屋大学と神戸大学に1名ずつの合格者を出すことができました。それ以外にも筑波大学をはじめ、広島、千葉といった大学にも久しぶりに合格者が出ました。根強い地元志向にも応え、金沢大学5名、福井大学7名、富山大学2名、公立小松大学8名という数字を残すことができました。この要因としては、一昨年から始まった「難関クラブ」の活動が軌道に乗ったこと、加えて同窓会から援助支援を受ける「Z会の団体添削」が挙げられます。また、本校が力を注ぐ「特別選抜（総合型選抜と学校推薦型選抜）」でしっかり合格者が出せたことも大きな要因の1つです。志望理由や面接の指導に要する時間は膨大ですが、本校の伝統である「全教員による受験指導」がそれを支えています。まさに、教師と生徒が一丸となり第一志望校にチャレンジしています。

また、私立大学に関しても善戦し、立教大学の合格者をはじめ、中央大学や東京理科大学、関西方面では、同志社大学、立命館大学といった有名校にも複数名の合格者を出すことができました。一般選抜だけでなく、総合型選抜などの活用によって多くの合格者が出ました。特別選抜の活用が生徒達にも浸透し、選択肢の一つとなったことの表れだと感じています。

今回の入試を振り返ると、生徒の志望の強さが一番に思い出されます。共通テストで判定は厳しい中、第一志望への思いを貫き合格する姿が多く見られました。これは現役生に限らず既卒生も2年越しの思いを胸に志望を貫き、素晴らしい結果を残してくれました。

大聖寺高校の伝統的な進路指導のメソッドに、特別選抜への柔軟な対応という新たな武器を加え、生徒の第一志望実現にチーム聖高として努力してまいります。

これからも同窓生のみなさまの、暖かいご協力、ご支援をお願い申し上げます。

進路指導課

国公立大学	名古屋大学	1	神戸大学	1	筑波大学	1	千葉大学	1	広島大学	1	国立大計 23名
	愛知教育大学	1	金沢大学	5	富山大学	2	福井大学	7	新潟大学	2	
	香川大学	1									
	石川県立大学	1	石川県立看護大学	3	公立小松大学	8	富山県立大学	1	福井県立大学	3	公立大計 22名
	長野県立大学	1	長野大学	1	三重県立看護大学	1	福知山公立大学	1	島根県立大学	1	
	新見公立大学	1									
私立大学	立教大学	1	東京理科大学	1	中央大学	1	日本大学	2	東海大学	9	私立大計 319名
	大東文化大学	1	中央学院大学	1	工学院大学	1	創価大学	2	麻布大学	1	
	和光大学	1	神奈川大学	1	埼玉工業大学	1	松陰大学	1	金沢星陵大学	19	
	金沢工業大学	27	金城大学	14	金沢医科大学	1	金沢学院大学	31	北陸学院大学	8	
	北陸大学	14	高岡法科大学	1	仁愛大学	2	福井工業大学	45	福井医療大学	4	
	新潟医療福祉大学	3	新潟工科大学	1	新潟青陵大学	1	中京大学	1	名城大学	1	
	日本福祉大学	2	愛知学院大学	6	愛知産業大学	1	中部大学	2	金城学院大学	4	
	名古屋学院大学	2	名古屋芸術大学	1	名古屋文理大学	1	愛知工科大学	1	東海学院大学	1	
	岐阜医療科学大学	1	鈴鹿医療科学大学	1	静岡理工科大学	1	同志社大学	4	立命館大学	7	
	龍谷大学	3	京都産業大学	17	京都橘大学	5	大谷大学	1	京都芸術大学	2	
	京都光華女子大学	1	明治国際医療大学	1	京都建築大学校	1	大阪経済大学	3	大阪工業大学	4	
	大阪産業大学	2	大阪学院大学	1	大阪電気通信大学	3	追手門学院大学	3	摂南大学	8	
	藍野大学	2	帝塚山学院大学	1	神戸学院大学	1	姫路独協大学	1			

※ 難関大学　北陸三県の大学

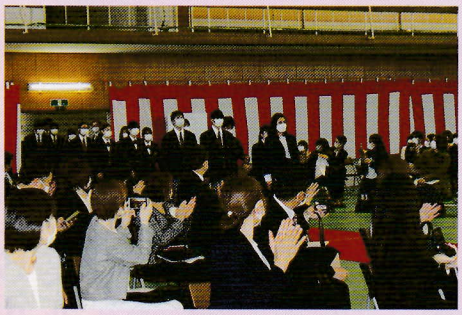
令和4年3月31日現在

令和4年度 入学式

令和4年4月8日（金）午後2時より、本校第2体育館にて入学式が行われました。昨年同様、新型コロナウイルス感染防止の観点から出席者も制限され、また、椅子の間隔も広く置かれた状態での入学式となりました。同窓会からは永山信也会長が来賓として出席されました。

新入生代表として山代中学出身の東川陽向（ひなた）さんの宣誓、在校生代表の松田優希さんの歓迎の言葉が述べられ、閉会となりました。

各中学校入学者数は、錦城40名、橋立4名、片山津21名、東和18名、山代24名、山中10名、芦城2名、丸内5名、松陽11名、御幸8名、南部12名、国府2名、板津1名、根上3名、志賀1名となっており、162名の新入生が入学しました。



新入生代表宣誓

英語暗唱大会（第73回前年度優勝者）

山中中学校　3年　中川　恵介

僕は初めてこの大会に参加して、皆の力がどの程度なのか分かりませんでした。でも、英語科の先生から応援していただき、勇気をもって練習に励むことができました。本番では、他の出場者の人たちの発音や表現力、訴えかける迫力もすばらしく、やはり各校の代表だけあって、見ていて不安になりました。それでも、優勝に選んでいただけてとてもうれしかったし誇らしく思います。

夏休みに初めてCDを渡され、秋から本格的な練習が始まりました。量を決めながら暗記し、言葉一つ一つの意味を体に染み込ませていきました。最後の一週間でアクションや目線などの仕上げをしました。本番中は審査員の目を見て演説することができ、よかったです。

結果発表は学校で知らされるものだと思っていましたが、朝、目を通した朝刊で結果を知ることになりました。とてもうれしいハプニングでした。

今回の優勝は、決して自分の力で成し遂げたものではありません。多くのアドバイスを頂いたALTの先生、英語科の先生、そして練習を何度も聞いてくれた両親のおかげです。

僕の夢は英語に関する仕事につくことです。これからもますます英語を好きになり、努力を続けていきたいと思います。

第74回 南加賀地区中学校英語暗唱大会

1月3日（木）本校図書館2階多目的ホールにて、同窓会主催の英語暗唱大会が開催されました。

本年もコロナ過での開催となりましたが、各中学校のご協力もあり、昨年同様、発表形態を変更し、6中学校の代表21名が参加して開催することができました。

出場者の皆さんがこれまでの練習の成果を十分に発揮し、英語の発音のみならず、身振り手振りなど交えレベルの高いパフォーマンスが繰り広げられました。

入賞者は左記の方々です。

●3年の部
第1位　森山　風花（錦城）
第2位　平田　心海（東和）
第3位　田中　眞緒（橋立）
第4位　小原　真子（山中）
第5位　山本　由奈（錦城）

●2年の部
第1位　西野　由夏（橋立）
第2位　山津　穂果（錦城）

●1年の部
第1位　和田　明奈（東和）
第2位　水戸　美晴（片山津）
第3位　堀　真優（錦城）

同窓会事務局からのお知らせ

大聖寺高校同窓会会員名簿が令和5年9月に発行されます。この事業は(株)サラトに委託し行っています。より正確な名簿作成のために、11月末に発送済みの確認ハガキ(右記)の返信にご協力ください。

尚、この会員名簿に関するお問い合わせ先は(株)サラト0120－998－714となっております。何かご質問等ございましたらご連絡ください。

今後この名簿が有効活用され、周年事業及び同窓会活動がより活発になることを祈っております。

令和4年度　定例理事会が開催されました

7月3日(日)、本校図書館2階の多目的ホールにて定例理事会が開催されました。永山会長および米口校長の挨拶の後、令和3年度事業報告・決算報告、令和4年度事業計画案・予算案が承認されました。また、創立110周年記念事業決算報告についても承認されました。

本来であれば、理事会に続き卓話をお聞きいただくことになっておりますが、コロナ禍での開催ということで中止とさせていただきました。

令和4年度　同窓会総会が開催されました

8月13日（土）午前10時より、本校図書館2階多目的ホールにて約40名の参加を得て総会が開催されました。

総会では令和3年度事業経過報告および一般会計決算報告、令和4年度事業計画案および一般会計予算案が承認され、大聖寺高校創立110周年記念事業の会計決算報告についても、拍手承認されました。

また、新副会長に茗荷谷豊氏（昭62高）、田畑智日氏（平元高）、濱谷敏之氏（平12高）、森知香子氏（平12高）、坪内沙織氏（平12高）の5名の方々が承認され、ご紹介させていただきました。

コロナウイルスの影響で、例年行っている懇親会は開催が困難と役員会で判断し、通常理事会の後に行う卓話を総会後に実施しました。

本年度は、東海大学工学部教授高尻雅之氏（昭61高）がIOT社会を目指した材料科学の取り組みー熱電変換技術からのアプローチー」という演題で、熱から電気を発生する原理から、今後の実用化に至る話を分かりやすくお話しいただきました。

「コロナ禍が終わり、来年こそは多くの同窓生に声をかけ、盛大に総会を開催したい」という声が多くの参加者から聞かれました。

同級生が集合

来年度の幹事の方々（敬称略）

来年度総会は、左記の方々を中心に、運営をお願いすることになります。この方々より、参加依頼がございましたら、是非ご協力下さい。

■主幹事　平成19年卒
河東　渉
扇谷　美紗永
吉川　真都
古山　由理
川端　一輝
藤井　香央理
竹野　教親
番　亜沙美
宮野　大輔
高宮　奈都乃
中村　拓朗
山岸　みずほ
北出　伸行
小西　有紗

■副幹事　平成20年卒
福島　輝
喜多　祐規子
田畑　泰一郎
高辻　悠月
堂下　健太
河崎屋　志帆
土肥　翔大
山岸　亜沙子
飛騨　健士朗
天田　未貴
宮前　亮督
大阪　亜希

■副幹事　平成21年卒
増田　拓也
山下　依珠美
中野　貴晶
井家　智絵美
濱本　寛基
河上　洵子
前出　真
中橋　沙希子
田中　一匡
大岡　郁美
熊野　史弥
川島　裕美

総会・懇親会へのご参加のお願い

平成12高　濱谷　敏之

私は、2016年に学年幹事として同窓生10人程で初めて総会に参加し、その後は毎年総会のお手伝いをさせていただいております。

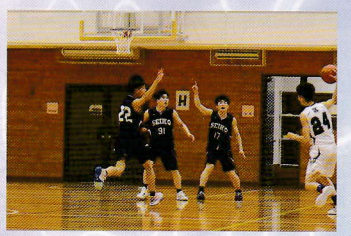
皆様も総会とは何をするのだろうか？と疑問だと思いますが、お世話になった諸先生方、歴代の卒業生OB、OGの方々との交流親睦会と思っていただいて大丈夫だと思います。そして久しぶりに会う同級生達とプチ同窓会というのもいいと思います。（自分たちも総会の後にみんなで飲みに行っています！）

大聖寺高校も創立110周年を迎えましたので、諸先輩方、そして若い世代の方達と一緒に盛り上げていきたいと思います。

私も微力ながら皆様のお手伝いをさせていただきますので、是非お気軽にご参加よろしくお願い致します。

母校探訪

創立110周年記念式典等でしばらくお休みしていた母校探訪。今回は令和元年に創部90周年を迎えた聖高バスケットボール部の顧問了舟文弥先生(男子)と小田原誠先生(女子)、そしてOB会(シューティングの会)を代表して佐々木和彦さんにお話を伺いました。今年度、男子は春季大会ベスト16、女子も夏に行われたウィンターカップ予選ベスト16と大活躍をしてます。



Q：現在部員数は？

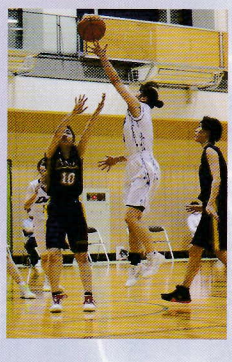
了舟：小田原：1年から3年まで男子 25名、女子 24名。初心者もたくさんいます。

Q：チームの雰囲気は？

了舟：小田原：とても明るく選手たちの仲、チームワークはとても良いです。こちらが「こんな風にやってみれば！」と出したヒントに対して、それぞれの役割を考えながら自分たちでも主体的に取り組む姿が最近よく見えます。

Q：どういう指導を心掛けていますか？

了舟：小田原：生徒とのコミュニケーションと自主性を大切にしています。



Q：勉強がつらいなどの理由で辞めてしまう子たちはいるんですか？

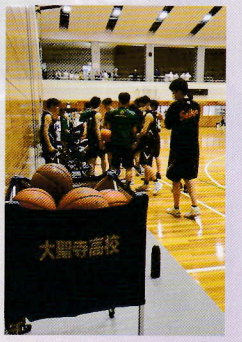
了舟：最近は少なくなってきています。一度辞めてしまった子が戻ってくるというケースがあります。

Q：それはどうしてでしょう？

了舟：楽しくバスケをしている姿を見てまたやりたくなるんじゃないかと思います。あと部活をやめる＝勉強するではないからですね（笑）

Q：試合で工夫されていることは？

小田原：了舟：バスケットボールは選手交代の多いスポーツなので、主力メンバーだけでなく、経験の浅い部員にも自分の役割を意識させ出場の機会を作り、自分の働きがチームにとって大事なんだという自信を持たせるようにしています。

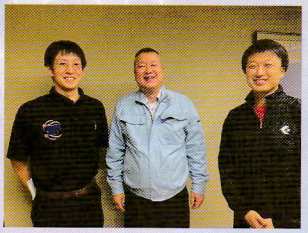


Q：OB会として、今どのような活動があるんですか？

佐々木：シューティングの会は50年ほど前に発足し、部活の支援や現役生徒との交流などを長年続けています。毎年年始に集い、現役対OBで試合をしています。また、今年はバスケットボールを母校に寄贈しました。

Q：高校生に一言お願いします。

佐々木：勝つという経験は、今後の人生においてとても大事なことだと思っています。これからも継続して色々な場面に応じて支援していきたいと思っていますので、頑張ってください。



左から了舟先生、佐々木氏、小田原先生

男子顧問の了舟先生は、高校時代にインターハイ出場経験があり、現在は日本バスケットボール協会公認A級審判資格（県下に6人しかいない）を取得され、さらに上位資格を目指してご活躍中。女子顧問の小田原先生は、布水中学校にお勤めの時に全国大会優勝に導かれた方です。

このように現在聖高バスケットボール部には充実した先生方、そして力強いOB会が存在しており、今後大きく飛躍していくと確信しました。中学生の皆さんが聖高バスケットボール部を目指し、たくさんの方々が入学、入部してくれることを期待します。

聖高生の活躍

第48回張江杯石川県高等学校バスケットボール大会
（男子）大聖寺58-84金沢学院大付　ベスト16

令和4年度石川県高等学校総合体育大会

体操部
女子団体優勝
下口ういか（2）山本心菜（2）柴田咲季（1）
個人種目別
跳馬2位　柴田咲季（1）
平均台2位　柴田咲季（1）
段違い平行棒　山本心菜（2）
ゆか　下口ういか（2）

全国大会出場

弓道部
女子個人4位　後藤　未希（3）

北信越大会出場

ソフトテニス部　女子個人　山﨑　日菜子（3）
（ダブルス）山崎　紗知（3）

北信越大会出場

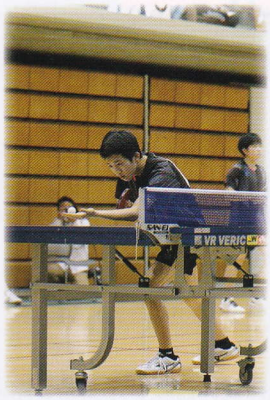
令和4年度石川県高等学校総合文化祭
（第69回NHK全国放送高校コンテスト）

放送部
アナウンス部入選　唐谷　侑花（3）
テレビドキュメント部門　優秀賞「新しい学校へ」
ビデオメッセージ部門　「地球の和」
朗読部門　田中　舞綾（3）唐谷　侑花（3）
小西ひかり（2）村上　瑞歩（2）

全国大会出場

第104回全国高校野球選手権石川大会
大聖寺4-6金沢学院大学付属高校　ベスト16
優秀選手（投手）西田智貴（3）

第75回全国高校バスケットボール選手権（ウィンターカップ）予選
（女子）大聖寺58-78金沢学院大付　ベスト16



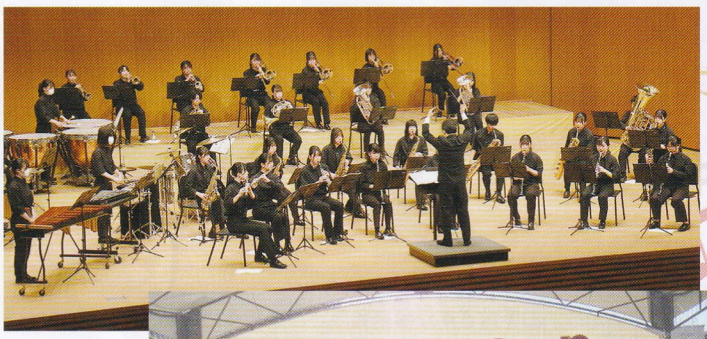
優秀選手に選出された
西田智貴君

同窓会では、全国大会の出場生徒に対し旅費等の補助をいたしております。

吹奏楽部　第47回定期演奏会を開催

去る5月28日（土）加賀市文化会館カモナホールにて、吹奏楽部の定期演奏会が開催されました。35人の部員たちは素晴らしい演奏のみならず、劇やダンスなどの素敵なパフォーマンスで550人の観客を魅了しました。

また、今年度吹奏楽部は9月10日（土）の十万石まつりにおいても演奏を披露し、地域を盛り上げる一躍を担いました。錦城小学校との合同演奏にも参加しました。



同窓会協力金（令和３年４月～令和４年３月）

ご協力いただきありがとうございました。

振込用紙の「芳名録への掲載不可」の欄にレ点ご記入いただいた方、また当会事務所に直接ご連絡いただきました方々のご芳名記載は、控えさせていただいております。

【昭17中】鈴木 善雄
【昭18女】佐竹(畠山) 瞳
【昭20中】萬谷 守男
北口 鎌太郎
【昭21女】山崎(稲坂) 倫子
佐藤(大杉) 正枝
下出(中道) 安子
畦地(村谷) 昌子
【昭22女】伊藤(和歌山) 道子
【昭22中】苅安 達男
【昭23女】山口(古田) 敏子
門(丹羽) 玲子
【昭24高】三谷 武
立花(黒瀬) 玲子
【昭25高】渡辺 岬
【昭26高】磯部(横山) 孝
近藤 善進
堀口 兵治
【昭27高普】北見 正孝
蓑輪 瑠璃子
黒田(中野) ミヨシ
中出(中出) 信子
竹沢(加納) 和子
五十嵐(小崎) 登美子
西山 静司
舟見 文夫
尾田(山下) 町子
【昭27高商】伊藤(西村) 忠吉
【昭28高普】平井(小嶋) 久幸
山田 長生
蓮井(伊豆蔵) 瑤子
表 義則
【昭29高普】中野 吉隆
目年(福村) 健吉
山下 岩雄
【昭29定片】木村 他喜男
【昭30高普】山口 一成
新井 重男
【昭30高商】竹野 茂
【昭31高普】打本 弘喜
中西 朗
深田(安田) 勝弥
下出 宏
河崎 竣三
【昭31高商】薮谷 幸男
【昭32高普】津田 孝夫
辻 謙治
中島(山内) 惇子
吉岡 剛
【昭33高普】岡西 洋輔
浅田 能成
岡田 成
坂本 達郎
金川(宮部) 克子
宮田 勇
笹谷 鐵雄
松原 幸次
【昭33高商】山田 伸一
【昭34高普】北見 悦子
西田 幸子
中川(岡西) 美枝
【昭34高商】中出(稲葉) 利子
塩野 昭治
冨樫 正機
櫻井 比呂之
三谷 雅肆
川俣(俵谷) 菊代
尾崎 昭範
【昭36高普】早崎 裕雄
松村 健彦
【昭37高普】柿谷 満智子
大和 謙市
木村(奥野) 利雄
清水(小坂) 昭子
【昭38高普】藤本(丸江) 美智子
土田(山本) 勝雄
【昭38高商】田畑 茂
【昭40高普】渡辺 祝宣
【昭41高】塚本 泰久
新家 勇治
伊林 永幸
表 寿一
【昭42高】諸橋 茂一
【昭43高】西野(荒木) 他恵子
【昭44高】宮本 繁
【昭45高】上出 文博
【昭46高】上田 弘志
浅野 清利
山村(吉田) 和恵
堀(石田) 隆子
柿谷 政信
久保 英一
棚木(谷口) 正江
【昭47高】西出 隆則
【昭48高】長河 政次
北口 倫也
【昭49高】玉井(橋本) 景子
谷口 喜久雄
宮本 孝司
西野(藤井) 真澄
飯貝 寿代
【昭51高】萬谷(森) 恭子
西 幸宏
【昭52高】奥野川(向) 洋子
【昭53高】元谷(辰川) 美江
竹松(福井) 和子
【昭54高】佐々木 和彦
福田 浩
山村 清二
出村 源国
【昭56高】坂口 順一
五十嵐 和彦
西原 成奎
山下 裕嗣
井口(宮崎) 妃呂子
小島(坂) 奈見子
金津 裕之
汲田(市村) 真澄
岩本(谷口) 百合子
山田(宮川) 陽子
櫻田 欣治
高見 利幸
谷 芳浩
畑中 秀夫
【昭57高】西村(荒谷) 年子
石田 博久
嘉野 和隆
南 正生
【昭58高】北村 誠
向出 圭三
【昭59高】千寺丸 誠憲
加戸 隆佳
林(坪田) りさ
【昭60高】岡田 秀一
浮見(上出) 明子
十佐近 徹
高田 真琴
若浦 輝彦
【昭61高】中山(油屋) 多木子
高見(東) 健次郎
蔵 公雄
【昭62高】堂前(北見) 育恵
細川 順一朗
北村 豊
坂下 和成
中道 朗子
大倉 顕二
笹木 功
中野 真吾
【昭63高】西本(辻) 多加子
辻 好美
武田(坂下) 紀子
【平元高】山下 弘蔵
出仙 裕美
木内(三谷) 亜紀
宮前(西川) 絹代
増田 智美
【平2高】平田(福島) ひとみ
【平3高】南川 順一
辻 勇徳
【平4高】上野 清隆
中田(村田) 浩一
【平5高】辻野 智美
上山 由紀子
村野(中田) 恵理
上田 雅大
徳田 総司
中田 充
西野 友義
上口(吉田) 珠江
土田 清二
【平6高】森川(赤丸) 雅子
【平8高】岸 英樹
小森 亮彦
西藤 洋司
萬田 幸恵
上野 幸司
西村 隆廣
川西 宏和
三代 健一郎
【平9高】旭 一岳
【平10高】松田 佐加恵
澤出 憲昭
【平11高】曽谷 直樹
【平12高】小餅谷 一樹
本倉 由紀子
森 知香子
坪内(岸田) 沙織
和田(酒谷) はるか
【平13高】中野 貴之
黒田 一徳
上出 彩乃
麻由子
福島 麻由子
【平15高】嶋崎 文彦
菅原 俊
森田 保彦
大中 貴裕
【平17高】土肥 尚人
【平19高】古山 由理
【平20高】坂本 由希
【平22高】築田 将太朗
【平24高】堂前 未来
中道 政貴
【平26高】堂前 有希
【平29高】畑 亜紗未
【平31高】渡邉 紗也
【令2高】藤堂 祐大
角出 勇実
【令3高】島田 珠利
中郷 摩耶
辻 飛勇雅
上出 日向
【旧職員】瀬川 幸三

（敬称略）

同窓生の皆様へ

同窓会・クラス会を開催された方々の記事を募集しています。また、当時の思い出や、同窓会へのご意見をお寄せ下さい。
尚、紙面の都合上、掲載出来ない場合があります。ご了承下さい。
学年・クラス等の同窓会開催のご相談、情報もお待ちしています。

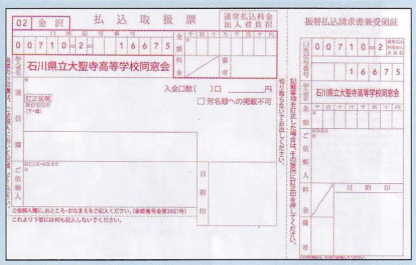
石川県立大聖寺高等学校
同窓会　事務局

〒922-8510
石川県加賀市大聖寺永町33-1
（鴻志館内）
TEL(0761)73-2771
FAX(0761)75-7117
月～金曜日(水曜日休)9:00～15:00
E-mail:info@seiko-ob.org
http://seiko-ob.org
学 校　TEL(0761)72-0054
大聖寺高校 同窓会　検索

同窓会運営協力金のお願い

納入方法等、下記に説明させていただきます。同窓会及び母校のさらなる発展のため、引き続きご支援のほどよろしくお願い申し上げます。なお、詳細はホームページでもご確認いただけます。

●協力金の主な使用目的
１会報「聖流」の発行
２英語暗唱大会の開催
３母校の教育活動の支援
４各支部への総会祝金、役員会費、旅費補助
５周年事業に向けて積み立て（基本財産）



●協力金の納入方法
郵便局又はコンビニエンスストアにて振込取扱票（同封されている用紙）でご送金ください。
振込取扱票は２種類ございます。振込手数料は不要です。
お手元に会報等届いていない方は、お手数ですが事務局までご連絡ください。

※2022 年 1 月 17 日以降に郵便局にて振込用紙をご使用の際には、お振込額に加えて 110 円が手数料として必要となります。
※バーコードをスマホ（PayPay・LINE Pay 等）で読み取ることでご自宅からご入金可能となりました。この決済は（株）サラトに委託しております。

毎年会報発行時にご協力をお願いしております。あくまでも任意のご寄附ですので、ご都合のつくときにご協力ください。
※納入いただいた方は会報「聖流」にご芳名を掲載してまいります。ご芳名の掲載を希望されない方は郵便振込用紙ご利用の場合、その旨をチェックしてください。また、コンビニエンス振込用紙の場合は、お手数ですが同窓会事務局（0761-73-2771）までご連絡ください。